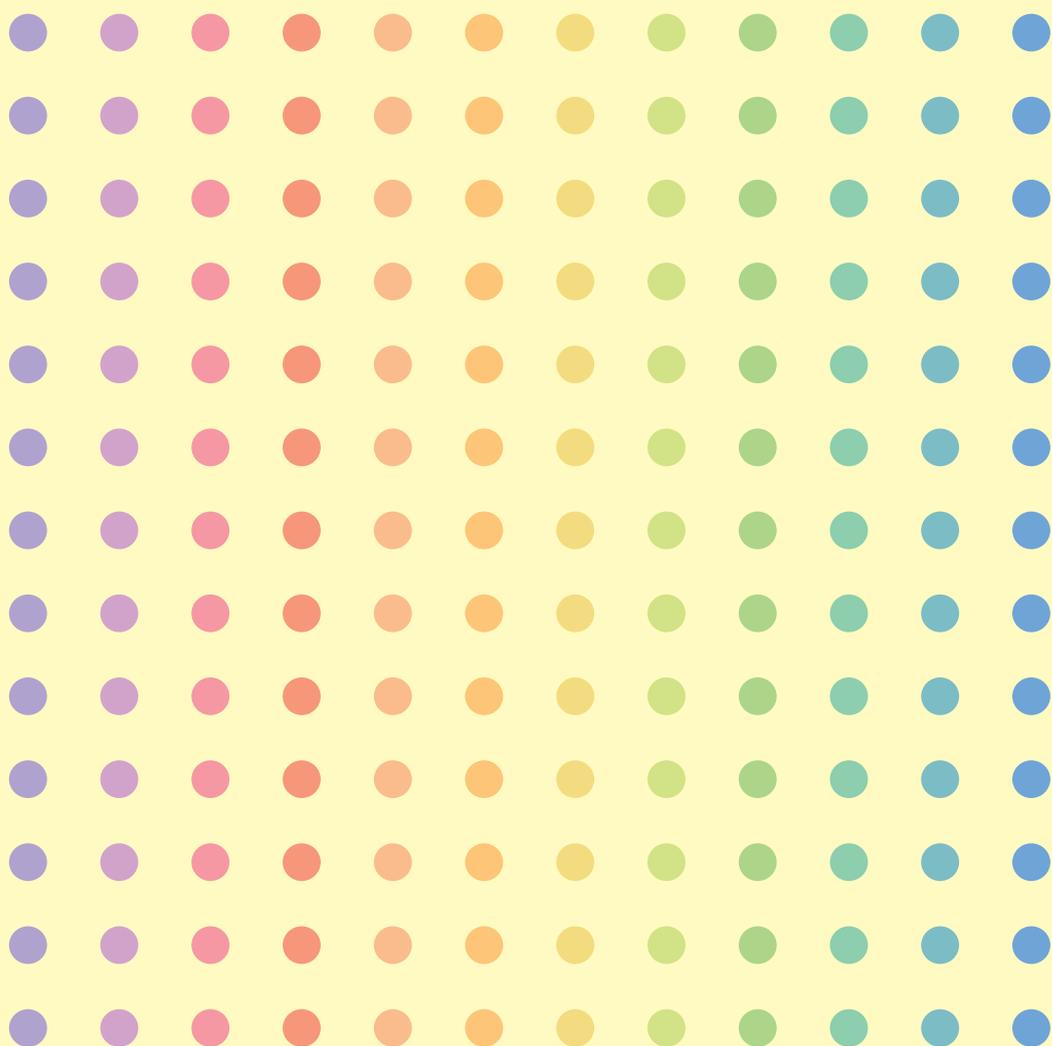


# NARA CHUO SHINKIN BANK REPORT 2022.9



# お客様や地域が抱える課題の解決に尽力し、地域社会全体の成長に貢献することを目指します。

当金庫は1948年(昭和23年)の創業以来「常に地域の皆さまと共に、地域の発展に貢献する。」という理念の下、協同組織の金融機関として、主に預金と融資を通じて社会的役割を果たしてまいりました。また、金融サービスの提供以外にも、地域社会の一員としてCSR(企業の社会的責任)活動にも積極的に取り組んでおります。こうした永年にわたる実績の積み重ねで得た、地域の皆さまからの信用・信頼は、目には見えない形ではありますが、当金庫にとって何物にも代え難い大きな財産となっております。

2021年度より第11次3か年計画「ちゅうしんサポート力強化と変革への挑戦」を策定いたしました。これからも地元を知り尽くした地域のベストパートナーとして、何かあれば、まず「ちゅうしん」とお客様から言っていただけますよう、地域から選ばれる信用金庫を目指して、役員一同真摯に取り組んでまいりますので、今後も、変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 地域社会の再生・活性化をめざして

### 地元が活性化することが、ちゅうしんの願いです。 《中小企業への経営支援及び地域の活性化のための取組みの状況について》

#### 中小企業の経営支援に関する取組み状況

#### ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度

起業・新規事業展開を目指す奈良県内中小企業の応援団として、地域経済の活性化に向けての取組みを一層強化することを目的に「ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度(愛称:グッドサポート)」を2008年(平成20年)6月に創設、今年で15回目を迎えることが出来ました。毎年県内全域のたくさんの企業、団体からエントリーを頂いております。

また、この助成金制度創設、運営、審査に関して奈良県をはじめ外部関係諸団体との連携を強化し、各団体からの協賛、協力を得ております。



回数	応募先数	助成先数	助成総額	グッドサポート大賞テーマ
第1回(2008年度)	83先	11先	900万円	部分非伸縮ニット技術による新規衣料の事業化
第2回(2009年度)	77先	7先	500万円	国内初の耳鼻科用検体採取機器の商品化
第3回(2010年度)	79先	9先	700万円	高性能・レアメタルフリー・積層型圧電アクチュエータの開発
第4回(2011年度)	92先	9先	710万円	革新的高速混練造粒機の電池業界への製造・販売
第5回(2012年度)	105先	9先	710万円	新しい紙おむつ廃棄用テープの開発
第6回(2013年度)	97先	10先	810万円	発泡ウレタンを含浸したフラップホイールの開発事業
第7回(2014年度)	118先	10先	780万円	医療機器(構成小物)の新規加工技術構築
第8回(2015年度)	93先	10先	810万円	ファクトリー化による贈答品市場の需要獲得
第9回(2016年度)	117先	10先	810万円	業界初がん新治療法のための発熱インプラントの試作開発
第10回(2017年度)	111先	12先	1,010万円	高度医療機器・分析器材用に必要な超精密部品製造システムの構築
第11回(2018年度)	137先	10先	600万円	「靴下編機用針折れ検知システム」の開発による革新的サービス体制の確立
第12回(2019年度)	154先	10先	600万円	樹脂製フィルターを用いた次世代型循環ろ過装置の開発
第13回(2020年度)	230先	13先	1,450万円	消臭lessmell事業
第14回(2021年度)	255先	13先	1,070万円	感染防止のためのディスプレイ尿器の開発
計	1,748先	143先	1億1,460万円	

#### 特別協賛

●奈良県

#### 協賛

- 国立大学法人奈良女子大学
- 公立大学法人奈良県立大学
- 奈良県中小企業診断士会
- 奈良県商工会連合会
- 奈良経済産業協会
- 国立奈良工業高等専門学校
- (公財)奈良県地域産業振興センター
- 奈良県商工会議所連合会
- 奈良県中小企業団体中央会

#### 審査委員会

- 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
- 国立奈良工業高等専門学校
- (公財)奈良県地域産業振興センター
- 奈良県中小企業診断士会
- 奈良中央信用金庫
- 国立大学法人奈良女子大学
- 公立大学法人奈良県立大学
- 奈良県産業振興総合センター
- 奈良新聞社

#### ならちゅうしん経営研究会

(1988年(昭和63年)発足 会員企業数39社)

企業経営に役立つセミナー、視察等も実施しています。

ならちゅうしん経営研究会では様々な経営課題について月例会で検討、研修や視察等を実施しています。今年で34年目を迎え、例会回数も通算350回を超えるなど、同研究会の歴史を物語っています。

#### ちゅうしんビジネスクラブ

(1991年(平成3年)発足 会員企業数352社)

お取引企業のニーズへの対応、問題解決にお客様と一緒に取り組んでいます。

お取引企業からの各種相談やニーズに対し専門の知識を有した職員が親身に対応すると共に経営、金融、税務、IT、事業承継等に関するタイムリーな情報提供も行っています。また、経営者の皆さま向けのセミナーや講演会、経営者の奥様向けの視察研修も好評です。

※会員相互のビジネスパートナー探し、販路の拡大等を目的として、ちゅうしんビジネスクラブ専用のホームページを開設しています。

<https://www.shinkin.co.jp/businessclub/index.html>

#### ちゅうしんサポートステーション

(2005年(平成17年)設立)

お客様から選ばれる金融機関として、様々な顧客ニーズに的確に対応することを目的に平成17年に設立しました。

当金庫では、ビジネスフェアや商談会の開催によるマッチングのみならず、イントラネット掲示板システムを活用して、「販路を広げたい」「仕入先を探したい」「専門家に相談したい」…といったお客様の様々なニーズを繋げることで、経営課題のスピーディな解決に努めています。

#### 中小企業基盤整備機構「中小企業応援士」受嘱(2020年度～)

中小企業基盤整備機構より、様々な課題を抱える中小企業・小規模事業者を応援する「中小企業応援士」に2020年度より高田理事長が委嘱されました。2022年度現在、全国で232名が委嘱されてます。当金庫の長年に亘る企業支援の取組みが評価されたもので、引き続き中小企業応援士として地域経済の発展と中小企業・小規模事業者の活躍を支えることを目指します。

#### 「ちゅうしんBig Advance」サービス開始(2021年6月1日～)

取引先事業者のデジタル化を支援するため、インターネットを活用した中小企業支援を手掛けるココペリが提供する経営支援プラットフォーム「Big Advance」を奈良県内金融機関で初めて導入しました。本サービスは、2022年9月末現在で全国83の金融機関が連携し経営支援を行うプラットフォームで、会員企業数は72,000社を超えます。ビジネスマッチングから福利厚生、ホームページ作成、社内チャット、安否確認など、様々な機能が搭載されています。



# 半期情報の開示について

当金庫の2022年度上期の業況等「経営の透明性」の確保を目的に、

## 預金・貸出金の状況

預金、貸出金はともに堅調に推移しました。

### 預金

普通預金が年間130億円増加するなど預金残高は、好調に推移しました。お客様が当金庫の健全性を高く評価していただいたことによる「信頼の証」でもあると思っております。

#### 預金残高の推移



区分	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末	年間増減額	年間増減率
預金残高	537,427	538,496	541,115	3,688	0.68%

### 貸出金

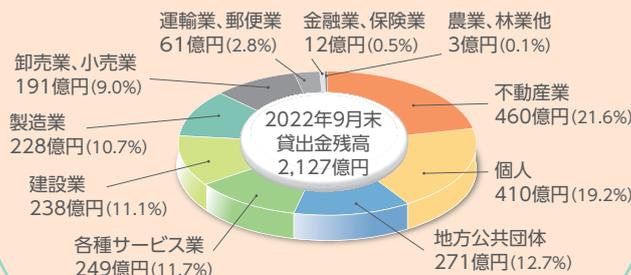
中小企業や個人等のお客様のニーズに応じ円滑な資金供給に注力した結果、貸出金は堅調に推移しました。

#### 貸出金残高の推移



区分	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末	年間増減額	年間増減率
貸出金残高	205,270	210,308	212,771	7,501	3.65%

#### 業種別貸出金内訳



## 収益の状況

厳しい経営環境の中、17億10百万円の当期純利益を確保できました。

超低金利が続く厳しい経営環境ではありましたが、資産の健全化を図りつつ、当期純利益は17億10百万円を確保しました。

#### 上期収益状況

区分	2021年9月期	2022年9月期	増減額	増減率
業務純益	1,206	450	▲756	▲62.71%
実質業務純益	1,206	450	▲756	▲62.71%
コア業務純益	1,138	1,214	75	6.64%
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	1,092	1,494	401	36.74%
経常利益	1,478	2,331	853	57.75%
当期純利益	1,046	1,710	664	63.48%

(注) 1. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額  
2. コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

## 有価証券の時価情報

安全性を重視した効率的な運用が基本スタンスです。

お客様からお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元へのご融資のほか、安全性を重視し、慎重かつ効率的な有価証券による運用を行っています。

#### ■ その他有価証券で時価のあるもの

区分	2022年3月末					2022年9月末				
	時価	帳簿価額	評価差額			時価	帳簿価額	評価差額		
			うち益	うち損				うち益	うち損	
その他有価証券	194,032	189,870	4,162	6,111	1,949	186,202	189,221	▲3,018	3,978	6,997
株式	2,576	1,818	757	820	62	2,635	1,818	816	887	70
債券	52,434	52,237	196	299	102	47,056	47,109	▲52	170	223
その他	139,021	135,813	3,207	4,992	1,784	136,510	140,293	▲3,783	2,920	6,703

(注) 1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。  
2. 上記の「その他」は、外国証券、投資信託、その他の証券です。

#### ■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

区分	2022年3月末 帳簿価額	2022年9月末 帳簿価額
子会社・子法人等株式	—	—
非上場株式	22	22
非上場その他の証券	3,404	2,871
合計	3,426	2,894

■ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券で時価のあるもの、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの…該当ありません。

## 自己資本(比率)の状況

着実に利益を積み上げ、自己資本額は413億円、  
 自己資本比率は16.88%と、引き続き健全な水準となりました。

自己資本比率は、金融機関の健全性を判断する重要な指標で、当金庫の16.88%という数字は、ちゅうしんの財務体質が、健全であることの証明です。

なお、自己資本額(※)は413億1百万円となっております。

※主に、創業以来73年間に亘って、毎年計上した利益等を中心として積み上げたものです。

### 自己資本比率の推移



### 自己資本の構成

(単位:百万円)

項目	2022年3月末	2022年9月末
コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	39,289	40,997
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	684	672
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	39,973	41,670
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	81	77
前払年金費用の額	289	291
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	371	369
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ))/(ハ)	39,602	41,301
リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計額	241,145	235,130
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	9,537	9,537
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	250,682	244,668
自己資本比率((ハ)/(ニ))	15.79%	16.88%

## 不良債権の状況

不良債権に対する備えは万全です。

当金庫ではかねてより資産の良質化に取り組んでおります。2022年9月期の不良債権額は、前期比1億84百万円減少し、69億97百万円(金融再生法ベース開示債権額)となりました。また、不良債権比率も、0.12%低下し、3.28%となりました。

なお、償却とともに適正な引当を実施しており、厚い内部留保とあわせて当金庫の不良債権に対する備えは万全であり、当金庫の経営に及ぼす影響は全くありません。

### 不良債権比率の推移



### 信用金庫法及び金融再生法開示債権区分による開示

(単位:百万円)

	2022年3月期	2022年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	377	242
危険債権	5,179	5,213
要管理債権	1,625	1,541
三月以上延滞債権	—	9
貸出条件緩和債権	1,625	1,532
小計(A)	7,182	6,997
保全額(B)	6,054	5,736
個別貸倒引当金(C)	905	890
一般貸倒引当金(D)	235	223
担保・保証等(E)	4,913	4,621
保全率(B)/(A)(%)	84.30%	81.97%
引当率((C)+(D))/(A)-(E)(%)	50.31%	46.90%
正常債権(F)	203,444	206,046
総与信残高(A)+(F)	210,626	213,043

- 注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。  
 3.「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。  
 4.「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。  
 5.「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。  
 6.「個別貸倒引当金(C)」は、貸借対照表上の個別貸倒引当金のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の債権額に対して個別に引当計上した額の合計額です。  
 7.「一般貸倒引当金(D)」には、貸借対照表上の一般貸倒引当金のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しております。  
 8.「担保・保証等(E)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。  
 9.「正常債権(F)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。  
 10.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は貸借契約によるものに限る。)です。

注記

このレポート作成に際しましては、原則として本決算と同様の方法で数計の集計を行っております。但し、2022年度上期末の償却・引当額は「金融再生法ベースの債権区分による開示」における簡便方法による自己査定結果を反映させ、当金庫の基準により計上しております。

# 地域社会の活性化に貢献できますよう、積極的にさまざまな活動に取り組んでいます

## NPOやボランティア団体のサポート

- **「NPOローン」** (2000年(平成12年)創設)  
全国の信用金庫として初のNPO法人向けの融資制度です。

- **「なら・ちゅうしん基金」** (2001年(平成13年)設立)  
役職員個人と信用金庫本体からのマッチングギフト方式で拠出金を積み立て、各方面の社会貢献に役立てています。



- **「なら・みらい創造プロジェクト」** (2003年(平成15年)創設、2012年(平成24年)リニューアル)

奈良NPOセンターと協働で奈良を元気に活性化するコミュニティファンド「なら・未来創造基金」を2003年(平成15年)に創設し、2011年度(平成23年度)までの9年間に57団体に対して、1,300万円の活動資金や研究資金をサポートしてきました。2012年度(平成24年度)からは奈良県の地域貢献サポート基金のスキームを活用し、地元のNPOやボランティア団体を応援する「なら・みらい創造プロジェクト」として実施、毎年5つの団体に各々20万円をサポートし、2003年(平成15年度)からの通算で20年間に112団体に2,400万円をサポートしています。\*「なら・みらい創造プロジェクト」の原資は「なら・ちゅうしん基金」で賄われています。



第11回「なら・みらい創造プロジェクト」助成金贈呈式  
(中央左、土屋副知事 同右、高田理事長)

### 2022年度助成団体

- 特定非営利活動法人 おひさまひろば
- 特定非営利活動法人 京終
- 特定非営利活動法人 なら福祉介護ネット
- 特定非営利活動法人 子育て研究所 tocotoco
- 特定非営利活動法人 共生学舎

## 環境保護・リサイクル

- **「クリーンキャンペーン」** (2004年(平成16年)～)

全店から多くの役職員が休日に集まり、地域の市・町への感謝の気持ちを込めて支店所在地の周辺地域の清掃活動を実施しています。



令和4年度のクリーンキャンペーン (2022年11月3日)

- **再生可能エネルギーの普及促進** (2014年(平成26年)～)

再生可能エネルギーの普及を目指す(一社)地域未来エネルギー奈良の活動に賛同し、太陽光発電施設への出資や人的参画も行っています。2018年(平成30年)12月には二号機も稼働しています。

- 恋の窪未来発電所@ならコープ 令和3年度年間発電量 49,330Kwh
- 恋の窪本部発電所 令和3年度年間発電量 16,266Kwh

- **川上村での植樹活動** (2015年(平成27年)～)

吉野川の源流にある川上村が取り組んでおられる水源環境保全事業に協力し、当金庫の役職員が大滝ダム周辺の白屋地区に山桜や紅葉など十数種類の幼木を植樹。県内の水源保全・景観保全のための地域貢献活動を展開しています。

※この植樹活動の原資は「なら・ちゅうしん基金」で賄われています。

- **「使用済み切手の収集」** (通年)

- **クールビズの実施** (毎年5～10月)

## チャリティー

- **共同募金協力型の飲料自動販売機の設置**
- **チャリティーコンサートの開催** (1991年(平成3年)より)

プロの音楽家を招いて地元のホールでコンサートを6月の「信用金庫の日」に時期をあわせ開催。チャリティー募金により社会貢献活動を推進しております。

今までの計27回で延べ1万5千人以上のお客様をお迎えし、チャリティー募金総額も1千万円を超えています。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2020年度～2022年度のチャリティーコンサートは中止となりました。

- **ウクライナ避難民 支援目的の募金**

2022年6月15日に「信用金庫の日」の活動の一環として、全役職員からの募金を金庫本体分と合わせて50万円を天理大学のウクライナ避難民受け入れに伴う「国際支援募金」に寄贈いたしました。

※募金50万円の内訳(役職員33万円+金庫本体17万円)



天理大学のウクライナ避難民支援目的の寄付金贈呈式

## 障がいのある人たちへの支援

- **奈良県内の特別支援学校等との交流推進**

- ・生徒さんやOBが当金庫ボランティアクラブのクリーンキャンペーンに参加 (2013年(平成25年)～)
- ・生徒さんが「ならちゅうしん経営研究会」総会の受付を担当 (2013年(平成25年)～) ※令和2年度～4年度は中止
- ・生徒さんのアート作品展を本店ロビーで開催 (2013年(平成25年)～)

- **岸本亜矢子さん(県立明日香養護学校卒)など、障がいのある方のデザインを顧客向けサービス品に採用しています。**(1996年(平成8年)～)

また、NPO法人ならチャレンジド主催の「さらりまちなかアート」に賛同して令和3年3月から作者にゆかりのある支店で作品の常設展示を行っています。



高田支店で開催中の「さらりまちなかアート」

- **県内の特別支援学校の生徒さんの美術作品を一堂に集めた「キラリと輝く! 特別支援学校アート展」に特別協賛しています。**(2015年(平成27年)～)

- **第22回「信用金庫社会貢献賞」会長賞を受賞** (2019年(令和元年))  
特別支援学校の生徒さんと当金庫の役職員との交流、協働が評価され、信用金庫社会貢献賞の最高の栄誉である「会長賞」を受賞しました。



「信用金庫社会貢献賞」会長賞の楯



当金庫では信用金庫社会貢献賞を3度受賞。

## 地域活性化の取組

- **営業店所在の県内主要自治体に対し「企業版ふるさと納税」を活用した寄付で支援** (2022年～)
- **道の駅大和路へぐり「くまがしステーション2022春 野菜もりもり寅フェスタ」に協賛・協力** (2022年4月)
- **「田原本ぎおん祭り」に協賛・協力** (毎年7月)
- **県内各市町村、商工会等のイベントへの協賛・協力** (通年)

## 2022年度上期の主なできごと (2022年4月~9月)

- 4.1 個人ローンに関して民法改正に伴う成年年齢引き下げの対応を行いました。
- 4.1 保証協会保証付「タイムリー保証」の取扱いを開始しました。
- 4.5 昭和47年4月5日に開店した香芝支店が50周年を迎えました。
- 4.28 天理大学と地域・社会に貢献できる人材を育成すること等を目的とする包括連携協定を締結しました。
- 4.29 道の駅大和路へぐり「くまがしステーション2022春 野菜もりもり寅フェスタ」に協賛し、100万円を寄附しました。
- 5.2 保証協会保証付「ちゅうしん季節資金」の取扱いを開始しました。
- 5.10 知財ビジネス評価者のひな形策定への協力に対して特許庁長官より感謝状を頂戴しました。
- 5.11 王寺町の新たな特産品創出事業に対し、「企業版ふるさと納税」制度を活用して、100万円を寄附しました。
- 5.27 三宅町の子育て支援事業に対し、「企業版ふるさと納税」制度を活用して、100万円を寄附しました。
- 6.1~30 「信用金庫の日」の信用金庫業界統一事業「地域応援キャンペーン」に参加しました。
- 6.3 天理市のスポーツツーリズム事業に対し、「企業版ふるさと納税」制度を活用して、100万円を寄附しました。
- 6.6 奈良県事業承継・引継ぎ支援センターと、事業承継支援に係る業務提携及び協力に関する覚書を締結しました。
- 6.15 「信用金庫の日・地域応援キャンペーン」の一環として営業店窓口にて信用金庫業界などのPRを行いました。(写真①)
- 6.15 「信用金庫の日・地域応援キャンペーン」の一環として全役職員と金庫本体からの募金を天理大学のウクライナ避難民受け入れに伴う「国際支援募金」に50万円を寄贈しました。
- 6.21 第73期通常総代会を開催しました。
- 7.14 お取引先の次世代経営者向けセミナー「第7期ちゅうしんビジネススクール」を開講しました。~11月まで(写真②)
- 7.16 3年ぶりに田原本・祇園祭が開催され、当金庫がよしもと演芸大会のステージを主催しました。
- 7.20 第11回「なら・みらい創造プロジェクト」の助成5団体が決定し、奈良県庁にて助成金(計100万円)の贈呈式を行いました。
- 8.5~12 特別支援学校校長会等が主催の特別支援学校アート展に特別協賛しました。(写真③)
- 8.29 広陵町の活力あふれるまちづくり事業に対して、「企業版ふるさと納税」制度を活用して、100万円を寄附しました。
- 9.1 第15回ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度“グッドサポート”の募集を開始しました。
- 9.5 取引先2社から当金庫に対し開放特許を活用した新製品「起立補助いす」が寄贈され、当金庫から感謝状とトロフィーを贈呈しました。(写真④)
- 9.14 警察機関と連携し「不当要求防止責任者講習」を開催しました。



①



②



③



④

### 外部機関によるCSRの評価

#### ● 全国信用金庫協会

- ・ちゅうしんNPOローンの創設：信用金庫社会貢献賞 特別賞(2002年(平成14年))
- ・なら未来創造基金の創設：地域再生しんさん運動優秀賞(2005年(平成17年))
- ・特別支援学校との交流・協働：信用金庫社会貢献賞・会長賞(2019年(令和元年))

#### ● 奈良県地域温暖化防止活動推進センター

- ・ヒマラヤ桜の植樹：地域環境貢献賞・匠の知恵(2009年(平成21年))

#### ● 近畿財務局

- ・ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度：地域密着型金融顕彰(2009年(平成21年))

#### ● 地域再生大賞実行委員会

- ・ちゅうしん地域中小企業振興助成金制度：優秀賞(2012年(平成24年))

#### ● 奈良県

- ・なら・みらい創造プロジェクト：社会貢献活動に対する感謝状(※2022年)

#### ● 田原本町

- ・寄付金：新型コロナウイルス感染症拡大防止対策目的の寄付金に対する感謝状(2020年)
- ・「SCBふるさと応援団」を活用した寄付に対する感謝状(2022年)

・同じ事業で複数回受賞しているものは最新の年度を表示(※印)しています。

- 橿原市 ・「企業版ふるさと納税」を活用した寄付に対する感謝状(2022年)
- 天理市 ・「企業版ふるさと納税」を活用した寄付に対する感謝状(2022年)
- 王寺町 ・「企業版ふるさと納税」を活用した寄付に対する感謝状(2022年)
- 三宅町 ・「企業版ふるさと納税」を活用した寄付に対する感謝状(2022年)
- 広陵町 ・「企業版ふるさと納税」を活用した寄付に対する感謝状(2022年)
- 王寺周辺広域休日応急診療施設組合
  - ・寄付金：コロナ禍の医療従事者支援目的の寄付金に対する感謝状(2021年)
- 奈良県社会福祉協議会
  - ・チャリティコンサート：チャリティ募金に対する感謝状(※2019年)
- 公益社団法人なら犯罪被害者支援センター
  - ・チャリティコンサート：チャリティ募金に対する感謝状(※2018年(平成30年))
- 日本金融通信社
  - ・長年にわたる障がい者支援活動：2016年度ニッキン賞(2017年(平成29年))

とってもオトクでベンリな「ちゅうしんのキャッシュカード・ICキャッシュカード」  
当金庫のキャッシュカード・ICキャッシュカードを当金庫のATMで利用(入出金)された場合

**ATMは、1年365日年中無休で終日手数料0円**

中央信用金庫